

人間社会学部／総合人間社会コース	職名	准教授	氏名	柴田 雅博
------------------	----	-----	----	-------

1. 教員紹介・主な研究分野

1999年九州大学システム情報科学研究科修士課程を修了、2005年同大学同研究科博士後期課程を単位取得退学。財団法人九州システム情報技術研究所に勤務後、九州大学システム情報科学研究科に戻り研究員を勤める。2012年フェリス女学院大学情報センター助手を勤めたのち、2015年本学人間社会学部講師に着任する。

専門は自然言語処理という人間が日常使っている言葉（自然言語）をコンピュータで解析し他の処理に応用する研究である。その中で私は特にWWW上にある膨大なテキストデータを利用し、そこから言語知識を獲得し、英日のフレーズ翻訳知識を収集したり対話処理に応用したりといったことを行っている。そのほか、情報教育、プログラミング教育に関する研究も行っている。

本学では情報学教育を中心として、教育プログラム「データサイエンス・プログラム」に携わっている。

2. 研究業績

①最近の著書・論文

- ・ 寺島正博, 石崎龍二, 柴田雅博, 許棟翰, 藤田和利, 松崎貴之, 小松啓子「社会福祉法人における業務支援システムの導入効果と課題—T社会福祉法人の事例を通じて—」, 福岡県立大学人間社会学部紀要, Vol.28, No.1, pp.51-63, (2019.9).
- ・ 柴田雅博「福岡県立大学人間社会学部における初年次情報リテラシー教育の効果(2019年度)」, 福岡県立大学人間社会学部紀要, Vol.28, No.2, pp.55-69, (2020.2).
- ・ 寺島正博, 石崎龍二, 柴田雅博「障害福祉サービス事業所におけるICTシステム導入の実績とそれに伴う業務効率の意識—T県におけるアンケート調査を通じて—」, 福岡県立大学人間社会学部紀要, Vol.29, No.2, pp.47-60, (2021.3).
- ・ 柴田雅博「幼児期プログラミング教育用教材の分析」, 福岡県立大学人間社会学部紀要, Vol.29, No.2, pp.103-114, (2021.3)
- ・ 柴田雅博「福岡県立大学人間社会学部における初年次情報リテラシー教育の効果(2020年度)」, 福岡県立大学人間社会学部紀要, Vol.29, No.2, pp.179-190, (2021.3).
- ・ 寺島正博, 石崎龍二, 柴田雅博「介護サービス事業所におけるICT導入の実績とそれに伴う業務効率の意識—A県におけるアンケート調査を通じて—」, 福岡県立大学人間社会学部紀要, Vol.30, No.1, pp.63-75, (2021.10).
- ・ 柴田雅博「2020年度のオンライン授業への取り組み—NII主催のサイバーシンポジウムを通して—」, 福岡県立大学人間社会学部紀要, Vol.30, No.1, pp.77-88, (2021.10).

- ・ 大久保淳子, 坂無淳, 柴田雅博『英国の初等教育におけるプログラミング教育の現状と動向—教科「Computing」の分析—』, 福岡県立大学人間社会学部紀要, Vol.30, No.1, pp.127-139, (2021.9).
- ・ 柴田雅博「福岡県立大学人間社会学部における初年次情報リテラシー教育の効果(2021年度)」, 福岡県立大学人間社会学部紀要, Vol.30, No.2 (2022.3掲載予定) .

②その他最近の業績

<学会発表>

- ・ 寺島正博, 石崎龍二, 柴田雅博, 許棟翰, 松崎貴之, 藤田和利. 小松啓子:「日本の障害福祉サービス事業所における業務支援システムの導入とその課題—T 社会福祉法人の事例を通じて—」, 第98回韓国日本学会国際学術大会, (2019.2).
- ・ 大久保淳子, 坂無淳, 柴田雅博:「就学前のプログラミング的思考の育成カリキュラムの開発」, 国際幼児教育学会第41回大会, (2020.9).

③過去の主要業績

- ・ 柴田雅博, 富浦洋一, 田中省作:「Web上の語の共起性に基づいたコロケーションの翻訳支援」, 情報処理学会論文誌, Vol.46, No.6, pp.1479-1491, (2005.6).
- ・ 柴田雅博, 富浦洋一, 西口友美:「雑談自由対話を実現するためのWWW上の文書からの妥当な候補文選択手法」, 人工知能学会論文誌, Vol.24, No.6, pp.507-520, (2009.9).
- ・ M. Shibata, T. Funatsu, Y. Tomiura: “Extraction of Alternative Candidates for Unnatural Adjective-Noun Co-occurrence Construction of English”, Procedia - Social and Behavioral Sciences, Vol.27, pp.32-41, (2011.11).

3. 外部研究資金

- ・ 日本学術振興会, 科学研究費基盤研究(C), 「大学生のITセキュリティに関する新たな教育プログラムの構築」(研究代表者: 中村晋介) 3,380千円, 平成28年度~令和元年度,, 研究分担者.
- ・ 日本学術振興会, 科学研究費基盤研究(C), 「プログラミング的思考の育成カリキュラムの開発—就学前~小学校の接続を焦点として—」(研究代表者: 大久保淳子) 3,510千円, 令和元年度~令和3年度, 研究分担者.

4. 受賞

5. 所属学会

情報処理学会, 電子情報通信学会, 人工知能学会, 言語処理学会, 日本情報教育学会

6. 担当授業科目

教養演習・1単位・1年・前期，情報処理の基礎と演習・2単位・1年・前期，情報処理応用演習・1単位・1～2年・後期，Webデザイン演習・1単位・2年・前期，情報ネットワーク論・2単位・2年・後期，データベース論・2単位・2年・後期，グローバル社会論・2単位・2年・後期（オムニバス），プログラミング演習・1単位・3年・前期，情報検索システム論・2単位・3年・後期

7. 社会貢献活動

8. 学外講義・講演

9. 附属研究所の活動等

- ・ R3 研究奨励交付金研究 (COC) 「保健福祉分野における業務改善のための情報ネットシステム・モデル開発」，研究分担者
- ・ R3 研究奨励交付金研究（データサイエンス）「教育効果の高いオンライン授業運営に関する研究」，研究代表者
- ・ R3 研究奨励交付金研究（横断型教育プログラム開発）「データサイエンスプログラムのプログラム体系化と教材開発に関する研究」，研究分担者
- ・ R2 研究奨励交付金研究（重点領域）「地域包括ケアシステム構築に向けた保健医療福祉データの GIS 分析による地域診断モデルの開発」，研究分担者